

日本化粧品学会

第43回 教育セミナー プログラム

健やかな肌を保つ ～ エイジングケア最前線 ～

ご挨拶

世間では高齢化社会への対応が叫ばれています。長い人生をどのように過ごしていくのか、良い人生にするにはどうしたらよいか、我々自身が考えていかなければいけません。健やかな肌を保ち、健やかな気分で日々過ごせることは大事な要素です。そこで、今回の教育セミナーではエイジングケアを取りあげます。加齢により起こる様々な皮膚の現象を理解し、予防、改善手段はあるのかについて、学びたいと思います。

まず、皮膚の性状に大きな影響を与える膠原線維、弾性線維に関する最新の研究を知り、シワを改善する製品開発はどのように行われたかを学びます。

さらに皮膚の外見の重要な要素であるメラニンの基礎研究を知り、臨床現場で行われているレーザー治療を勉強します。

また、皮膚の性状に影響を与える乾燥、細菌叢についても、加齢による変化を含め、最新の知見を話してもらいます。さらには健康戦略として注目される機能性香料についても聞きたいと思います。

1日でもエイジングを系統的に学習することができる内容になっています。それぞれ、その分野のトップの方に講演をお願いしておりますので、わかりやすく解説して下さるはずですが、最新の基礎研究、臨床現場で行われていることを一気に学べますので、いろいろな段階、立場、職種の方にとり役に立つ内容となっております。多くの方のご来場をお待ちしております。

学術委員長 海老原 全

開催日：2018年11月2日

会場：ヤクルトホール

* アクセスは最終ページの地図をご参照ください

〒105-8660 東京都港区東新橋 1-1-19 (TEL.03-3574-7255)

開場：9:30 開演：10:00

参加費：会員 15,000円 (予約 13,000円)

非会員 20,000円 (予約 18,000円)

学生会員 1,000円 (当日のみ・要旨集代含・要学生証提示)

学生非会員 2,000円 (当日のみ・要旨集代含・要学生証提示)

* ご所属が賛助会員の場合、個人会員と同じく15,000円(事前予約13,000円)でご参加頂けます。

* 参加費には要旨集代が含まれています。

日本化粧品学会 第43回教育セミナー プログラム

10:00～10:05 開会挨拶 委員長 海老原 全 (慶應義塾大)

10:05～10:50

1. 生体の伸縮性を生み出す仕組み ～弾性線維形成の分子機構～
中邨 智之 (関西医科大)

10:50～11:35

2. 加齢による皮膚を非侵襲的に観る
安井 武史 (徳島大)

11:35～12:20

3. 抗シワ医薬部外品成分の開発
楊 一幸 (ポーラ化成工業)

12:20～13:20 — 昼休み (参加費に弁当代は含まれません) —

13:20～14:05

4. メラニン合成酵素及びメラノソーム輸送の分子機構：輸送阻害に着目した美白剤開発
福田 光則 (東北大)

14:05～14:50

5. レーザー治療とスキンケア：最大の治療効果を得るための工夫
根岸 圭 (東京女子医科大学附属成人医学センター)

14:50～15:35

6. 加齢とドライスキン
谷崎 英昭 (大阪医科大)

15:35～15:55 — 休憩 —

15:55～16:40

7. 新たな健康戦略としての「機能性香料」の提案 ～ヒトフェロモン等価物の応用～
篠原 一之 (長崎大)

16:40～17:25

8. 肌状態と皮膚細菌叢
川崎 洋 (理化学研究所)

17:25～17:30 閉会挨拶 副委員長 正木 仁 (東京工科大)

POINTS OF INTEREST!

生体の伸縮性を生み出す仕組み
 ～ 弾性線維形成の分子機構 ～
 [中邨 智之 先生]

加齢に伴って皮膚が伸び縮みしなくなること(=たるむこと)は、真皮にある弾性線維という細胞外マトリックスの劣化・分解が原因です。同じく肺気腫や動脈中膜硬化も弾性線維の劣化・分解が直接原因です。したがって、機能的な弾性線維を保つこと、あるいは弾性線維を再生することが、老化にまつわるさまざまな問題の解決となり得ます。弾性線維はどうやってできるのか、再生は可能なのか、研究の最前線をご紹介します。

加齢による皮膚を非侵襲的に観る
 [安井 武史 先生]

皮膚の真皮にはコラーゲン線維が豊富に含まれていることから、真皮コラーゲン線維が皮膚の形態や機能に深く関連している。また、皮膚の張りや弾性に深く関与することから美容の観点でも重要とされている。このような真皮コラーゲン線維の構造異常や構造的変化を観察することは、皮膚性状を探るだけでなく皮膚疾患に関する情報を得る上でも重要である。本講演では、真皮コラーゲン線維を生きたありのまま状態で選択的に可視化する第2高調波発生光顕微鏡について紹介する。

抗シワ医薬部外品成分の開発
 [楊 一幸 先生]

超高齢化社会へ突入し、シワ改善は顧客の普遍的なニーズとなってきています。しかしながら、我が国では長く化粧品や医薬部外品にシワに対する効能表現は認められてきませんでした。これに対して、日本化粧品学会では抗シワ製品評価試験ガイドラインをまとめ、業界全体で化粧品・医薬部外品の効能範囲の拡大を厚生労働省に要望してきました。その活動が結実し、2016年に「シワを改善する」医薬部外品の製造販売が初めて認可されました。本セミナーでは、抗シワ医薬部外品の開発事例を基に、抗シワ有効性評価法、及び有効成分の作用機序についてご紹介したいと思います。

メラニン合成酵素及びメラノソーム輸送の分子機構
 : 輸送阻害に着目した美白剤開発
 [福田 光則 先生]

肌や髪の毛に含まれるメラニン色素は、有害な紫外線から私達の体を守るという生物学的に重要な役割を担う一方で、加齢などによるメラニンの過剰な沈着はシミの原因ともなります。メラニンの沈着を人為的に防ぐためには、まずその仕組みを知ることが大切です。本講演では、メラニン色素にまつわる「輸送」という現象に着目し、その仕組みの最前線を紹介すると共に、新たな美白剤のターゲットとしての可能性にも言及します。

POINTS OF INTEREST!

レーザー治療とスキンケア ：治療効果を高める工夫 [根岸 圭 先生]

レーザー治療の適応は拡大し、いわゆるしみ治療の範囲を超え、加齢による諸症状に対する総合的な改善を目的にレーザー治療を望む患者が増加している。しかし、レーザーがすべてを解決してくれるわけではない。日頃のスキンケアが適切でなければ、治療効果が減弱するばかりか、合併症を生じる原因にもなってしまう。そこで今回、レーザー治療の効果を高めるためのスキンケア指導とそれに求められる製品について、日常診療の経験からお話したい。

加齢とドライスキン [谷崎 英昭 先生]

加齢によって全身の各種臓器の機能は低下していく。皮膚も例外ではなく、その一症状がドライスキンである。加齢によって皮脂腺が減少し、天然保湿因子の減少などによって水分保持能力が失われて柔軟性が低下する。皮膚の乾燥は入浴時の擦過や石鹸の使用、エアコンの使用などライフスタイルによっても大きく影響される。本講演では、加齢にともなう生理的な変化を中心に関連する皮膚疾患についても理解を深めたい。

新たな健康戦略としての「機能性香料」の提案 ～ ヒトフェロモン等価物の応用 ～ [篠原 一之 先生]

女性では、エストロゲン、テストステロン分泌量は月経前、出産後、更年期に急激に減少します。そのため、その時期に心身の症状が出現することも珍しくありません。しかし、日本では副作用が懸念され、補充療法はあまり行われていません。そこで、私たちは、女性の脳を刺激しエストロゲン、テストステロン分泌を促進する、香気成分を探索してきました。当日は、それらホルモン分泌を促す香気成分についてお話ししたいと思います。

肌状態と皮膚細菌叢 [川崎 洋 先生]

わたしたちの皮膚表面には多種多様な微生物が存在し、安定した微生物叢を形成することで、皮膚の機能維持に寄与している。我々は、汎用される皮膚細菌組成解析データに菌の定量評価を加味して、健常人およびアトピー性皮膚炎をはじめとする各種皮膚疾患の皮膚細菌叢を解析した。その結果、個人個人の皮膚細菌叢には特徴があり、個々の肌状態や皮膚特性と関連する可能性が考えられた。本講演では、皮膚微生物叢をすることで、健康な肌を維持することができないかについて考察したい。

参加申込方法

日本化粧品学会 第43回教育セミナー

参加申込事前予約締切：2018年9月5日(水)

学会ホームページ(<http://www.jcss.jp/>)にて

- * 9月6日(木)以降は当日受付でお申込みください。
- * 予約申込で入金が確認された方には参加証及び要旨集を10月上旬に送付する予定です。
- * 一旦払い込まれた予約参加費は払い戻しできませんのでご注意ください。

連絡先：

日本化粧品学会 教育セミナー事務局
〒162-0801

東京都新宿区山吹町358-5

アカデミーセンター

TEL. 03-5389-6496

FAX. 03-5227-8632

E-mail. jcs-semi@bunken.co.jp

■ ヤクルトホールへのアクセスマップ



- JR 新橋駅「銀座口」より徒歩3分
- 都営浅草線 新橋駅「汐留1番出口」より徒歩1分
- 新交通ゆりかもめ 新橋駅 徒歩3分
- 東京メトロ銀座線 新橋駅「2番出口」より徒歩2分
- 都営大江戸線 汐留駅 徒歩5分